

広
報

かわづ

January 1
2013年 No.485

一年の決意を筆先に込めて

書き初めの練習、南小学校体育館



迎春



山積する課題に積極的に取り組み 活力ある地域社会を実現

新年明けましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、健やかに
希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申
上げます。

昨年は町政各般にわたり、深いご理解とご
協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

現下での国の経済は、一昨年の東日本大震
災の早期復旧復興や原発によるエネルギー政
策問題、さらに長引くデフレや人口減少社会
に伴う経済の停滞が懸念される中で大変厳し
い状況が続いています。

町におきましても国の影響をうけ、基幹産
業である観光業や農業の不振、雇用環境の悪
化などが進行し大変厳しい情勢です。さらに
昨年4月に人口が8千人を割り、少子高齢化、
過疎化が一層進み、高齢化率も34%を超えま
した。町勢の発展を図る上で大きな隘路になっ
ていますが、これを打開するためには活力溢
れた地域社会を実現することが何より肝要で
あると思います。

町では今、平成25年度の予算編成を進めて
いますが、町税収入の伸びが期待できず、一
方で社会保障関係経費、道路や公共施設の経
年劣化に伴う維持補修費などの義務的経費の
伸びが避けられないという厳しい財政見通し

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに
新たな年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、年の瀬も押し迫つての衆議院の解
散で、新たな政権に新たな国づくりを期
待したのは皆さま共のことと存じます。

また、昨年1年を振り返りますと、国は災
害・福島問題、米軍のオスプレイ沖縄配備な
ど世界各国との外交・防衛に不安を抱え、併
せて経済の低迷・生活環境の悪化など、暗い
世相の中、ロンドンオリンピック・パラリン
ピックでの日本選手団の活躍は明るい話題で
ありました。

県では、伊豆半島のジオパーク認定や海の
県道223号線など、伊豆半島をアピールす
る事業が努力されているところです。

町内では、伊豆今井浜病院の開設や上河津
診療所の開設と、町民をはじめ近隣住民に医
療施設の確保ができましたことは大きな安心
であったと考えます。長年の懸念であった関

の中で、将来をしっかりと見据え、第4次総
合計画の着実な推進を図るべく取り組んでい
ます。

2月には、河津桜まつりにあわせ谷津地区
に「河津平安の仏像展示館」が開館。4月には
七瀬の踊り子歩道が開通します。また昨年
閉館したサンシップ今井浜の跡地には海辺に
合う体験施設を建設すべく計画を進めており、
新たな観光スポットが誕生する予定です。

地域の資源と産業を連携した活性化、観光。
交流産業の振興を図るとともに、昨年事業化
された伊豆縦貫道（河津下間道路）を活かし
た地域振興など次世代につながる政策、また
喫緊の課題として、想定される南海トラフ巨
大地震への地震津波対策をはじめとする災害
対策の強化を図ります。将来を担う子どもや
子育て支援、高齢者の介護、医療問題など課
題は山積していますが、町民の声をしっかりと
町政に反映すべく進めていきたいと思いま
すので、町民の皆さまのさらなるご理解、ご
協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとって素晴らしい
年になりますよう心からお祈り申し上げ、年
頭のあいさつとさせていただきます。

河津町長 相馬 宏行

中バイパスの「かわづいでゆ橋」も完成し、
まもなく始まる河津桜まつりの渡り解消に期
待を寄せるところでもあります。

町議会は昨年9月、2年を経過した議会人
事で新体制に移行しました。今後、町民のた
めのまちづくりの舵取りにさらなる知恵が必
要になると考えます。

国・県・町の方向は、国民・県民・町民の
暮らしを守るため、総理・知事・町長・議会
が重大な責任を持って先導しなければなりま
せん。しかし、伝統文化・絆は町民の皆さま
の相互理解と協力がなければ守ることはでき
ません。

私たち議員は、全員で町民の皆さまと一丸
となり、昨今の難局を乗り越えるべくさらなる
前進をしなければならぬと考えます。希
望が持てる郷土再生のため、町民の皆さまの
ご理解・ご協力をお願いし、併せて皆さまの
健康・平安を願ひ、失礼ながら書面からの新
年のあいさつとさせていただきます。

河津町議会議員 山下 英一

希望が持てる郷土の再生へ 一丸となって取り組む



が整備を進めている伊豆縦貫自動車道（伊豆縦貫道）のうち、河津町と下田市間の「河津下田道路Ⅱ期」は、昨年4月に事業化が決まりました。これまでに、地元地区への説明会や現地調査などが行われ、今後、早期の開通を目指して本格的な用地調査や工事が行われます。

伊豆半島の発展に貢献 『伊豆縦貫自動車道』

伊豆縦貫道は、東名高速沼津ICと下田市を結ぶ約60kmの自動車専用道路です。

開通すれば、周辺道路の渋滞解消や災害時の緊急輸送路として大きな役割を果たします。下田から沼津までの所要時間が2時間から約半分に短縮されるため、救急病院への

素早い搬送や、沼津や三島と

いった中心城市への通勤が可能になり、それによる若者の定着、観光客の増加など、地域住民の暮らしの向上を支え、伊豆半島全体を活性化する効果が期待されています。

川横く逆川区間を先行整備 『河津下田道路』

河津下田道路は、伊豆縦貫道の最南端にあたる約13kmの

早期完成へ向け大きな弾み

伊豆縦貫自動車道

河津下田道路Ⅱ期が始動

区間です。そのうち今回事業化が決まったⅡ期分は、河津町川横から下田市箕作までの6・8kmです。開通すれば、国道135号、414号の渋滞緩和はもちろん、狭く曲がりくねった道が続き、夏は大型車の通行が禁止される国道414号に代わる道路として、安全・安心な通行が可能になります。道路は、国道414号の近

くを通る計画で、区間の半分程がトンネルとなります。このうち、河津側の川横から逆川までの区間（仮称、河津ICから逆川ICまで）が、先行して整備されます。

早期完成を目指し3区間で整備中

伊豆縦貫道は、現在、東駿河湾環状道路、天城北道路、河津下田道路の3区間で整備

が行われています。

東駿河湾環状道路は15kmのうち10kmが開通し、来年度中に全線開通して伊豆中央道・修善寺道路とつながる予定です。天城北道路は6・7kmのうち1・6kmが開通しました。河津下田道路の下田側となるⅠ期分は、現在、都市計画の手続きが進められるとともに、環境への影響について調査が行われています。

渋滞を解消し、快適な運転を実現

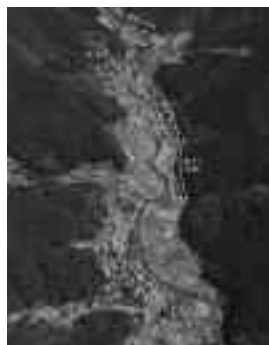
河津下田道路



河津IC付近（川横）



逆川IC付近（逆川）



※写真はイメージですので、実際の設計とは異なります。○○ICは仮称

10年後、20年後、未来の伊豆半島はこうなる！
私たちの暮らしが快適かつ安全・安心に

全市町から病院まで60分圏内に

伊豆縦貫道が全線整備されると、伊豆地域の第3次医療機関（重篤な患者に対応する高度医療機関）である順天堂大学静岡病院（伊豆の国市）、沼津市立病院（沼津市東椎路）への搬送ルートと時間が短縮され、伊豆半島全市町から病院までの時間が60分圏内になります。

現在、伊豆南部地域は60分圏外です。



緊急車両・物資の輸送がスムーズに

一般道路と比べて、道幅が広く高速・安全・確実に走行できる自動車専用道路ができることで、大雨や土砂崩れなどによる通行止めを防ぎ、災害や緊急時における車両や物資の輸送をスムーズに行うことができます。



道幅が狭く、大型車のすれ違いが困難な国道414号

東駿河湾環状道路

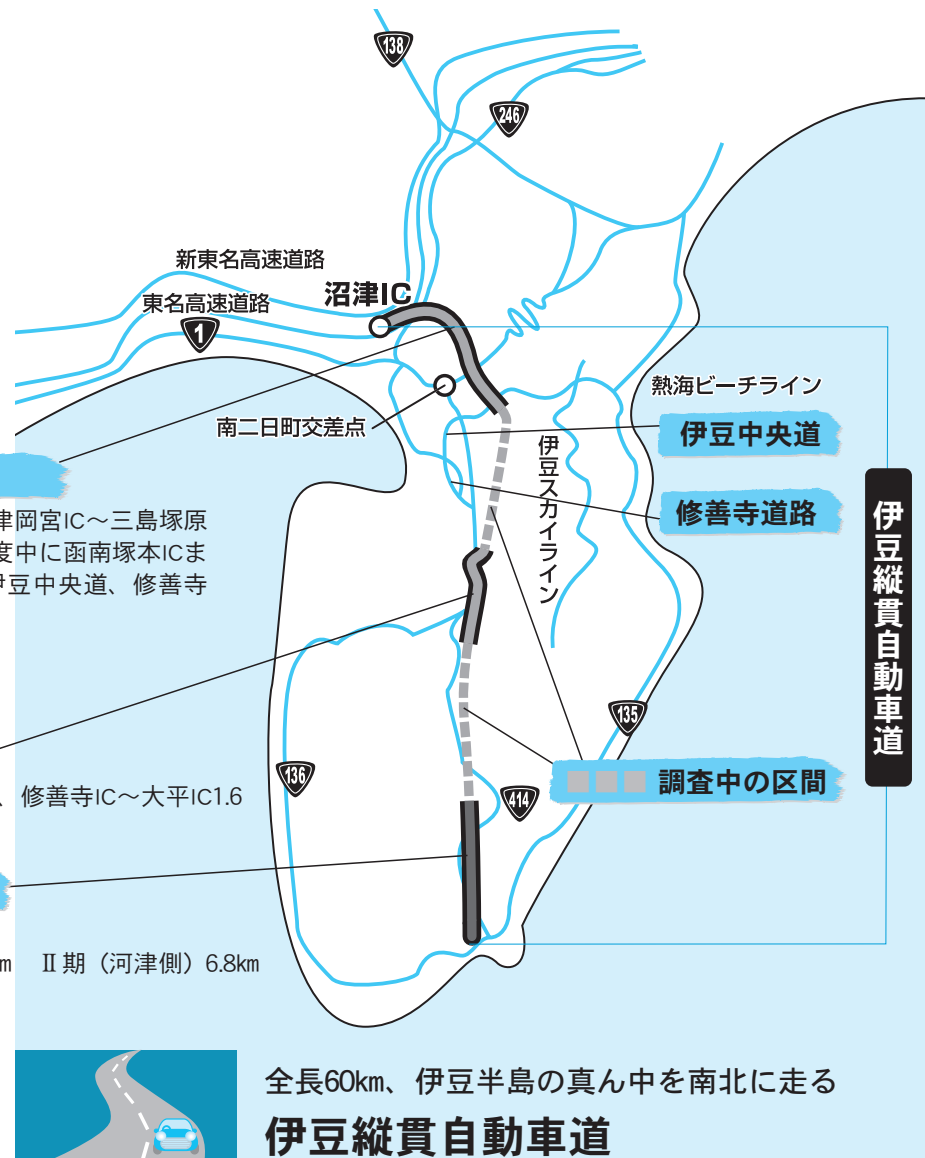
全長15km 2009年、沼津岡宮IC～三島塚原IC10kmが開通。2013年度中に函南塚本ICまでの全線が開通し、伊豆中央道、修善寺道路とつながる予定。

天城北道路

全長6.7km 2008年、修善寺IC～大平IC1.6kmが開通。

河津下田道路

全長約13km
Ⅰ期（下田側）6km Ⅱ期（河津側）6.8km



広報かわづ12月号の内容をテープに吹き込むしゃくなげの皆さん。
記事を分担してひとりずつ朗読していく。



朗読に合わせて音響やBGMを調整する長岡さん

Topics 2

目の不自由な人に暮らしの情報を声で届けます

朗読ボランティアしゃくなげ 声のたより「タウン情報かわづ」

【問い合わせ】社会福祉協議会 ☎34-1286

貴重な情報源として27年
朗読ボランティアグループ「しゃくなげ」(吉野登代子代表)が、活動開始から今年で27年目を迎えます。広報かわづや新聞記事の内容を朗読して60分テープに吹き込み、目の不自由な人に届ける声のたより「タウン情報かわづ」は、昨年12月分で通算305号を数えました。目の不自由な人の貴重な情報源として頼りにされています。

しゃくなげは、町社会福祉協議会から依頼を受け、昭和62年8月から声のたより「タウン情報かわづ」をスタートしました。

当初、テープレコーダーやマイクなどの録音機材はすべて会員の自前。現在はボランティア団体室で録音していますが、当時は会員の自宅を録音場所として使っていました。吉野代表は、「お寺のお堂で録音したときは、虫やカエルの鳴き声が入ってしまい大変でした」と振り返ります。

会員は、40代から70代まで10人。毎月1回、広報紙と新聞記事を中心に、要望に応じて短歌や詩集、カラオケなども吹き込みます。録音を担当



現在7人に送られている「タウン情報かわづ」

Topics 1

もしものときの安全と安心を守ります

高齢者の緊急時に備え 「救急医療情報キット」を配布

【問い合わせ】保健福祉課 ☎34-1937 地域包括支援センター ☎34-1938

町は、高齢者の安全・安心な生活を守る取り組みとして、緊急時に必要な医療情報をまとめて保管する「救急医療情報キット」(救急キット)の配布を始めました。

救急キットとは
プラスチックの専用容器に、かかりつけ医療機関や持病などの医療情報を入れて自宅の冷蔵庫に保管し、緊急時に備えるものです。自宅で急に具合が悪くなったとき、かけつけた救急隊が救急キットから情報を入手し、素早い救急活動や病院への連絡・搬送を行うことができます。

配布の対象は、①②③④で希望する人
①65歳以上のひとり暮らしの人
②65歳以上の世帯の人
③身体に障がいを持っている人
④その他、健康に不安がある高齢者など

救急キットの使用方法
①容器の中に入っている「救急情報シート」に、緊急連絡先、かかりつけ医療機関、持病などの情報を書いて、容器に戻してください。

②写真(本人確認できるもの)、



救急キットは必ず冷蔵庫で保管

健康保険証の写し、診察券の写し、服用薬の説明書の写しを用意し、容器に入れておく。とより救急時に役立ちます。持病がある人や薬を服用中の人は安心です。

③救急キットを冷蔵庫に保管してください。

④救急隊が救急キットをすぐに見つけられるように、目印のシール、マグネットを玄関ドアの内側と冷蔵庫の扉に貼ってください。

⑤救急キットの情報は随時更新し、万が一に備えましょう。

配布を希望する人は
保健福祉課、または地域包括支援センターで申し込んでください。本人が来られないときは、家族や民生児童委員などが代理で申し込むことができます。

織田さんが郡・町会長表彰

町社会福祉大会

町社会福祉協議会（岩井民夫会長）主催の町社会福祉大会が11月20日、役場で開かれ、福祉関係者約90人が出席しました。表彰では、同協議会評議員でわかば保育園園長の織田恒孝さんが、社会福祉協議会の郡会長表彰と町会長表彰を受賞しました。記念講演では、法テラス下田法律事務所の篠崎元貴弁護士が、「福祉における弁護士の役割」について講演しました。



岩井会長から表彰状を受ける織田さん

「介護福祉士になってお年寄りを笑顔にしたい」と話した山城さん



代表8人が自分の思いを語る

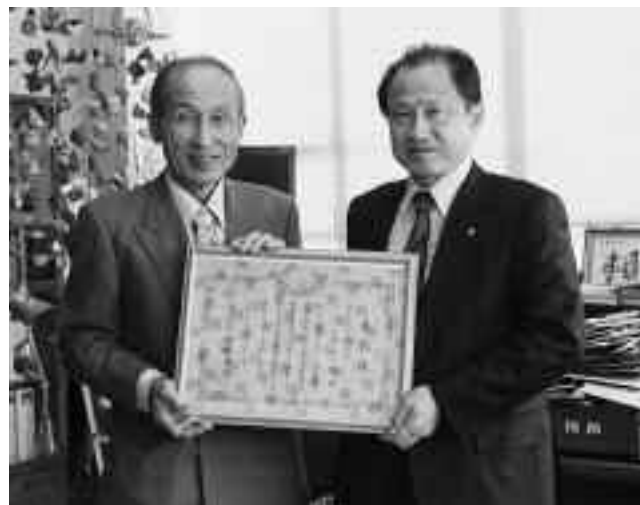
青少年の主張大会

第11回町青少年の主張大会が11月25日、役場で行われ、小学生から高校生まで代表8人が日ごろ思っていることや将来について、自分の言葉で発表しました。発表者は次のとおりです。鈴木萌（東小6年）、山城美結（西小6年）、簾田寛太（南小6年）、楠孝納佑（河津中1年）、及川真由（同2年）、飯田亮子（同3年）、木村優里（下田高1年）、村木汐里（稲取高1年）

全国育樹祭で森づくり功労受賞

天城カントリー工房、土屋宗一郎さん

土屋宗一郎さん＝浜＝が、第36回全国育樹祭の森づくり功労者「森を活かす人部門」を受賞し、11月19日、相馬町長に報告に訪れました。天城産の木材をはじめ国産材を使った住宅や公共施設の建築が評価されました。土屋さんは国産材の魅力を、「その土地で育った木はその土地の気候に合っている。地産地消は、木にも暮らす人にもとても良いこと」と話しました。



受賞報告に訪れた土屋さん（左）

献花する踊子姿の堤さんと学生姿の山本さん



川端康成ゆかりの地をアピール

伊豆の踊子文学祭

湯ヶ野観光協議会は11月25日、湯ヶ野で第8回伊豆の踊子文学祭を開きました。式典と第16回伊豆の踊子ウォーキング（踊子の道ジオサイトウォーク）を行い、川端康成の名作「伊豆の踊子」ゆかりの地をアピールしました。式典は、伊豆の踊子文学碑前で開かれ、踊子姿の堤真理子さんと学生姿の山本健志郎さんが献花し、堤さんが碑文を朗読しました。



時間をかけて作ったこだわりの猪鍋

鍋やアユの塩焼きをサービス

峰温泉大噴湯まつり

峰温泉大噴湯まつり（下峰区主催）が11月25日、同公園で開かれました。伊勢エビが入った大噴湯鍋、アユの塩焼き、名物の温泉卵「大噴湯たまご」が無料で振る舞われ多くの人でにぎわいました。神事では、地上30mに達する大噴湯の噴き上げが披露され、大正15年から続く温泉に来場客から歓声があがりました。また、子どもたちの峰龍太鼓の演奏が会場を盛り上げました。



アユの塩焼きの無料サービスに並ぶ人たち

ZOOM IN KAWAZU

まちの 出来事

こだわりの猪鍋に大満足

見高入谷高原紅葉ふれあいまつり

伊豆見高入谷高原温泉の紅葉ふれあいまつり（同温泉管理組合主催）が11月23日、同温泉で開かれました。猪鍋やみかん餅の無料サービス、新鮮な地場野菜や手作りの加工品の販売が行われ、雨にもかかわらず多くの来場客でにぎわいました。猪鍋は猪肉を炒めて作ったこだわりの鍋で、来場客は「体が温まっておいしい」と何杯もおかわりをしていました。また、餅つき体験は子どもたちに人気で、つきたてのみかん餅の試食は長い行列ができました。

猪鍋を振る舞う伊豆の踊子



伊豆の踊子が笑顔でもてなし

河津七滝猪まつり

河津七滝観光協会は11月20日、七滝遊歩道のかに橋付近で猪まつりを開きました。伊豆の踊子や山伏姿の協会員が猪鍋と滝酒を1杯100円で振る舞い、観光客をもてなしました。猪鍋は、大きな鍋に猪肉約30kgと白菜や大根などを入れて約400人分を用意しました。会場は、遊歩道が改修工事中のため、昨年に続き例年行っていた初景滝前から変更されました。

図書館カレンダー 1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

今月のおはなし会

「さくらの会」読み聞かせ会
日曜日 14時30分～
1月13・20・27日

乳幼児向けの読み聞かせ
「はらぺこあおむしの会」
0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分
2・3歳児向け 10時40分～11時
(毎週木曜日)
1月10・17・24日

幼児向け 14時30分～15時
(第2木曜日)
1月10日

小学生向けの読み聞かせ
「時間のはこぶね」
毎週木曜日 15時50分～16時20分
1月10・17・24日

※おはなし会は読み聞かせ室で行います。
変更がある場合は、図書館に掲示します。

フレッシュな新成人の皆さんに！

みずみずしい感性、好奇心、柔軟な思考を持ち合わせている若いときに読書することは、後の生き方に大きな実りをもたらします。図書館では、新成人の皆さんに贈る本を多数そろえています。

2013「若い人に贈る読書のすすめ」

■聞く力	著／阿川佐和子
■くちびるに歌を	著／中田永一
■できることをしよう。	著／糸井重里
■しあわせに働ける社会へ	著／竹信三恵子
■生きのびるための科学	著／池内了
■上昇思考	著／長友佑都
■情報の呼吸法	著／津田大介
■幸せの条件	著／菅田哲也
■武士道と修養	著／新渡戸稲造
■置かれた場所で咲きなさい	著／渡辺和子
■きみたちはどう迷うか	著／酒井穰



聞く力 心をひらく35のヒント
インタビューが苦手だった著者が、1000人近い出会い、30回以上のお見合いでつかんだコミュニケーション術を披露。商談、日常会話にも生かせる「聞く極意」。

秋の図書館日記

秋の図書館へ行こうキャンペーンが11月17日に行われ、町内の小学生が参加しました。今回は、笹原在住の安藤栄司さんに、「三養院の淵のうなぎ」や「鳥精進・酒精進」など、河津の昔話を描いた手作りの紙芝居を読んでもらいました。



手作りの紙芝居を読む安藤さん、次回作も考案中

と き：1月24日(木)13時～
ところ：保健福祉センターふれあいホール
対象者：平成24年9月生まれの赤ちゃん

語りかけから、始めよう。
今月のブックスタート

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書 名（一般書）	著 者 名	出 版 社
めぐり逢い	鳥越 碧	講談社
作家ソノミの甘くない生活	群 ようこ	毎日新聞社
路（ルウ）	吉田 修一	文藝春秋
夢追い漫画家60年	藤子不二雄 A	PHP研究所
知識ゼロからの着物と遊ぶ	石橋 富士子	幻冬舎

書 名（児童書）	著 者 名	出 版 社
十二支のしんねんかい	みき つきみ／文 柳原 良平／画	こぐま社
希望への扉リロダ	渡辺 有理子／作 小渕 もも／絵	アリス館
天才ジョニーの秘密	エレナー・アップデル／作 こだま ともこ／訳	評論社
10分で読める すいり・たんていの話	前川 律子／選	学研教育出版
科学のふしぎな話365	日本科学未来館／監修	ナツメ社

フレッシュ

280

夢に終わりはない

黒田 涼太さん
くろだ りょうた
谷津
20歳 A型 ふたご座
㈱黒田板金工業



工場にて

家業の黒田板金で働く黒田涼太さんは、今年成人式を迎えたフレッシュさんです。

見習い中の涼太さんは、毎日町内外の現場へ足を運び、トタン屋根の取り付けや外壁・内装工事など、板金の仕事を身体で覚えていきます。心がけているのは仕事終わりの後片付けで、「掃除をしてきれいにするのは得意です」と自信たっぷりに話します。「尊敬しているおじいちゃんに認められるようになる」のが目標だそうです。

今一番熱中しているのはサッカー。休日はサッカーをして過ごすことがほとんどで、サッカーチーム「パパズ」で技術を磨いています。「サッカー選手になるのが夢です。夢に終わりはありません。好きな選手は元ブラジル代表のアドリアーノ」と、サッカーへの強い思いを熱く語ってくれました。

マイブームは、仕事の疲れをとり肩こりに効くお風呂の入浴剤。友達と飲む週末のお酒も楽しみのひとつ、地域の消防団活動にも積極的に参加しています。

自分の思いに正直に行動する涼太さん。仕事にサッカー、果たして次の挑戦は…どんな活躍を見せてくれるか楽しみです。

【取材】島崎由美子さん(民間広報協力員)

連載 歴史の散歩道

天城のみちすがら 第一話

豆州梨本宿（駅）

文・稲葉 修三郎

豆州梨本宿（駅）は、現在の川横区の全体である。幕末から明治の初めにかけて脚光を浴びたところである。天城を北に越える人、北から南に来る人は、必ずこの宿に泊まらなければならなかった。

梨本宿には、「本陣」、「脇本陣」、「旅籠」などがあり、いまだにその跡は確認できる。

鎖国から開国にかけて、幕客、文人、老中松平定信、大学頭林緯、勘定奉行川路聖謨、アメリカ初代総領事タウンセンド・ハリス、捕えられ江戸送りとなった吉田松陰など多くの人が泊まった。

二月号へ続く

稲葉さんの庭先にある、旧天城街道梨本宿の碑




昭和42年ごろの豆州梨本宿の全景

稲葉 修三郎 いなば しゅうざぶろう 1926年生まれ 86歳 川横 てっぽう

町の郷土史研究の第一人者 文芸かわづ編集長、静岡県ふるさと学士、賀茂地区生涯大学奨学園顧問、河津町ふるさと歴史研究会顧問、かわづふるさと案内人会顧問。新聞・雑誌の執筆、テレビ・ラジオの出演など多忙を極める。



第13回県市町対抗駅伝競走大会が12月1日、県庁前から草薙陸上競技場まで11区間、42・195kmのコースで行われました。

河津町チームは、第1走者の平川選手から第11走者の片山選手まで1本のタスキをつなぎ、町の部9位と健闘しました。目標の2時間25分台には残念ながら届きませんでした。ゴールまで力いっぱい走り抜きました。



9区谷選手から10区臼井選手へタスキリレー

町は、高齢者や単身世帯の孤独死の防止を図るため、「高齢者等見守り活動に関する協定書」を町内で配達や検針を行う12事業所と締結し、11月20日に協定書を交付しました。

締結した事業所は、郵便事業、運送業、新聞販売、電力事業、LPガス販売で、日ごろから配達や検針で各世帯を訪問する機会が多い職種です。業務中、従業員がいつもと違った様子や異変に気付いたとき



協定書の交付を受ける事業所代表

は、町や地域包括支援センター、警察、消防へ連絡・通報します。連絡を受けた町や関係機関は、直ちに適切な対応で支援を行います。

news

11人がタスキをつないだ
第13回県市町対抗駅伝競走大会

大地震が突然発生したことを想定した地域防災訓練が12月2日に行われ、町民2400人が参加しました。各自主防災組織で避難誘導や消火などの訓練が行われました。

下峰地区では、中学生25人が参加して、同地区の避難路

となつている山道にロープを取り付ける訓練を行いました。中学生は、役員たちの指導で、握りやすくするためのこぶをロープに作り、避難路の竹に結び付けました。中学生は「ロープがあれば早く逃げられて安心」と話しました。



写真上・下 急な避難路にロープを取り付ける中学生

news
and
info

news

中高生が避難路に
ロープを取り付け
地域防災訓練

保健のお知らせ

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 1月21日(月)
13時30分～15時30分
2月4日(月)
13時30分～15時30分
場 所 保健福祉センター

■育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで相談してください。

日 時 2月5日(火)
9時30分～11時30分
場 所 保健福祉センター
ふれあいホール
対象者 子育て中の保護者
内 容 身体測定、離乳食、育児相談
歯科衛生士による歯科相談、
フッ素塗布(希望者)
持ち物 母子健康手帳



寝がえりができるようになったよ！

ふれあいホールにて

■のびのび発達検査(要予約)

日 時 1月28日(月)
場 所 保健福祉センター
対象者 子どもの言葉の発達やしつけ
などで心配なことがある人
内 容 児童相談所心理司による精神
発達精密検査と個別相談

●今月のテーマ
運動で
転倒・寝たきり予防

「はつらつ健康体操」農協TVで放送開始！

保健福祉課 ☎34-1937

介護が必要になる原因は、脳卒中や認知、転倒による骨折が半数を占めています。このうち、転倒による骨折は筋力の低下が原因で起こることがあります。筋力が弱まり自分の身体を思うように支えられなくなると、住みなれた家の中や平らな道で転倒し、最悪の場合そのまま寝たきりになります。また、骨折しなくても転んでしまったことで落ち込む人やまた転ぶかもしれないという不安から歩くことを控えてしまう人もいます。転倒による寝たきりを予防するには、運動をして身



椅子に座ったまま運動できる「はつらつ健康体操」

体の筋力を維持向上していくことが重要です。運動にはウォーキング・ジョギング・体操などさまざまな方法がありますが、無理な運動はかえって身体によくありません。短期間で成果を求めるのではなく、自分の

体力や目的に合わせた無理のない運動を心がけましょう。楽しみながら続けることが身体にも心にも大切です。

保健福祉課は、介護予防教室を高年齢者いきいきセンタールで開催しています。また、この1月から初の試みとして、「はつらつ健康体操」を農協有線テレビで放送します。放送時間は月曜から土曜、11時10分と16時10分からの2回、約10分間です。椅子に座ってできる簡単な体操を町スポーツ推進委員がやさしく解説します。ぜひ、自分の運動メニューに加えてみてください。

保健福祉課 遠藤 絹代 保健師

乳がんマンモグラフィ検診の日程

区 分	実施日時	申込方法
【集団検診】 保健福祉センター 検診車	1月7日(月)、8日(火)、9日(水)、10日(木)、11日(金) 15日(火)、16日(水)、18日(金)、19日(土)	申込は12月で終了しましたが、空きがある場合は受診できます。 保健福祉課 ☎34-1937
	①8時50分 ②9時20分 ③9時50分 ④10時20分 ⑤10時50分 ⑥12時50分 ⑦13時20分 ⑧13時50分 各時間4人まで	
【個別検診】 佐藤医院 (浜)	1月15日(火)、18日(金)、21日(月)、22日(火) 25日(金)、28日(月)、29日(火) 午前中 1日5人まで	佐藤医院に直接申し込んでください。 ☎32-0551

早期発見のために
乳がん検診

今年度対象でない人も受診できます。

■対象者 40歳以上で平成24年度に偶数歳になる女性

■内容 マンモグラフィ検診

■負担金 1,000円(70歳以上無料)

【問い合わせ】

保健福祉課 ☎34-1937

ひとの動き

戸籍だより

(11月1日～30日届出)

相 談

人権・行政・生活相談

日 時 2月6日(水) 10時～15時
場 所 保健福祉センター
ふれあいホール
問 町民生活課 ☎34－1932

日本年金機構出張相談

日時・場所
2月8日(金) 下田市役所 (要予約)
2月15日(金) 河津町商工会館
9時30分～11時30分 13時～14時
問 町民生活課 ☎34－1932
(予約は下田市役所国保年金係 ☎22－3922まで)

高次脳機能障害の相談会

高次脳機能障害は、病気や事故の影響で脳が傷つき、その後遺症として記憶や注意力などが低下し日常生活に支障をきたすものです。
日 時 1月31日(木)
13時30分～16時30分
場 所 下田総合庁舎4階 第8会議室
対 象 高次脳機能障害を持つ本人および家族など
内 容 医療相談 (リハビリテーション専門医による相談)、福祉相談 (福祉制度の利用や社会参加について)
申 込 電話予約してください。
問 賀茂健康福祉センター福祉事業課 ☎24－2056

相続登記の無料相談会

県司法書士会下田支部が、県土地家屋調査士会と合同で開催します。予約は不要です。直接会場にお越しください。
日 時 2月9日(土) 10時～14時
場 所 下田市本郷公民館(西本郷2丁目13-21)
問 佐々木司法書士事務所 ☎22－2370

人口と世帯

(12月1日現在)			
人 口	7,932 人	前月比 (－6)	
(男)	3,825 人		
(女)	4,107 人		
世帯数	3,321 世帯	前月比 (+1)	

お知らせ

津波対策への寄附を募集

県は、県が実施する津波対策の推進を目的とした寄附を募集しています。寄附金は県全域で行う防潮堤などの建設に活用します。皆さんの寄附をお願いします。寄附申出書は、県総合庁舎で配布、または県ホームページから印刷できます。
問 県交通基盤部管理局経理監 ☎054－221－2222 FAX054－221－2945
http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-020/tsunami-kifu01.html

国籍事務の取り扱いが変更

静岡地方法務局下田支局の国籍事務の取り扱いが変更され、同支局管内に住所がある人の次の手続きは、1月1日から静岡地方法務局沼津支局で取り扱うことになりました。
取り扱いが変更になった手続き
帰化許可申請、届け出による国籍取得、国籍離脱、そのほか国籍に関する相談
問 静岡地方法務局沼津支局 ☎055－923－1201

振り込め詐欺に気をつけて

県内の振り込め詐欺の発生件数は、昨年1月から12月18日現在で104件、被害額は2億5,504万円でした。
息子を名乗り「風邪を引いた」、「携帯電話の番号が変わった」という電話や、社会保険事務所や役場などの職員を名乗り「払い過ぎたお金を返します」、「スーパーやコンビニのATMへ」という電話は、詐欺を疑い警察に通報してください。また、警察官が自宅にキャッシュカードを取りに来たり、暗証番号を聞いたりすることは絶対にありません。あらかじめ家族にしかわからない合言葉を決めたり、留守番電話に設定したりすると被害防止に効果的です。
問 下田警察署 ☎27－0110 下田警察署管内防犯協会 ☎27－2766

1/29伊豆東海岸中継局が開局

静岡県放送局5社（NHK静岡放送局、静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ）は、地デジの受信不良改善のため、大島に伊豆東海岸中継局を建設しています。本放送開始は1月29日を予定しており、開局後は、伊豆半島東海岸の広い地域で静岡県の地上デジタル放送をご覧いただけるようになります。

自宅の屋根の上から大島が見通せる場合は、基本的に伊豆東海岸中継局の電波で地上デジタル放送をご覧いただけます。

問 地デジ受信について 地デジコールセンター ☎0570－07－0101 (平日9時～21時、土日祝9時～18時)／中継局について 静岡放送㈱ ☎054－284－9059(平日9時30分～17時)

今月のふれあい町長室

相馬町長と直接対話
できます。事前に電話
予約してください。
日 時 1月28日(月)
13時30分～
1人20分程度 団体不可

場 所 役場町長室
予約受付 1月21日(月)～25日(金)
問 まちづくり推進課 ☎34－1924

犬・ねこ引き取ります

飼い主のいない犬・ねこの引き取り
日 時 2月7日(木) 13時～13時15分
場 所 役場前駐車場
問 町民生活課 ☎34－1932

バガテル公園が木曜定休に

河津バガテル公園は、12月6日から木曜定休になりました。
定休日 木曜日
次の期間は休まず営業します
正月 (1月1日～3日)、河津桜まつり期間 (2月5日～3月10日)、春バラ最盛期 (5月～6月)、秋バラ最盛期 (10月～11月)
1月の臨時休業日
1月22日(火)、23日(水)
問 河津バガテル公園 ☎34－2200

電話帳を配達・回収します

NTT西日本は、1月中に新しい電話帳をお届けする際、環境保護や資源の有効活用のため、古い電話帳を回収しますので配達員へお渡しください。不在の場合は、改めて伺いますのでご連絡ください。
問 タウンページセンタ ☎0120－506－309(平日9時～17時)

福祉の仕事就職フェア

日 時 2月9日(土) 13時～16時
場 所 沼津リバーサイドホテル (沼津市上土町100-1)
対 象 福祉職場に就職を希望する一般および学生
内 容 就活ミニセミナー、合同就職面接会 (14時～) など
参加費 無料
申 込 電話・FAXで申し込んでください。
問 県社会福祉人材センター ☎054－271－2110 FAX054－272－8831

ふれあいナースフェア開催

県内の病院、福祉施設、訪問看護ステーションなど約100施設が参加します。
日 時 1月14日(月・祝)
11時～15時30分
場 所 グランシップ10階(静岡市)
対 象 未就業の看護職、退職予定の看護職員、看護学生
内 容 合同就職相談会、国家試験対策ミニ講座、相談コーナー、看護技術ミニ体験など
参加費 無料
問 県看護協会 県ナースセンター ☎054－202－1761

1月10日は110番の日です

110番は、緊急通報専用電話です。事件、事故の発生や不審者などの情報は、すぐに110番通報してください。
110番通報の注意点
①最初に何があったのか(110番した理由)を教えてください。
②110番は、すべて警察本部の「110番センター静岡」で受理されるため、市町名から説明してください。
③逃走車両がある場合は、ナンバーや車種、色などの特徴を教えてください。
④携帯電話での110番は、目標となる大きな建物などを伝えてください。また、携帯電話に折り返し電話を掛けることがありますので、通話終了後も電源を切ったり、留守番電話にしないください。
警察への要望や相談は、近くの交番・駐在所または下田警察署、相談専用電話「#9110」をお願いします。
問 下田警察署 ☎27－0110

伊豆ならんだの里「河津平安の仏像展示館」2月20日オープン 産業振興課 ☎34－1946



谷津南禅寺の仏像と歴史

東海地方最古の「地蔵菩薩像」

出家した僧侶の姿で、左手に如意宝珠 (あらゆる願い事を叶えてくれる玉)、右手に錫杖 (先に銅や鉄で作られた輪がついた杖) を持っています。日本で地藏信仰が盛んになる12世紀より前の10世紀に作られたものです。10世紀にさかのぼる地藏菩薩像は全国的に少なく、東海地方では最古のものです。





おみやげに持って行った
金銀の鶴

kawa-jin

かわづの



町文化協会の副会長として、町民文化祭の実行委員長として、日々精力的に活動している池田静子さん。昨年10月、日露協会下田支部が主催したロシア訪問に参加しました。

「3年前からロシアの留学生のお世話をしています。初めてモスクワ大学の学生が私の家に来たのは、平成21年の桜まつりのときです。下田支部の会長が、『この時期に日本に来たなら桜のきれいな河津を』と薦めてくれました。また一昨年は、ロシア人の日本画家、マクシモヴァ・ナターリヤさんが文化祭を見に来てくれました」とロシアとの交流を話す池田さん。

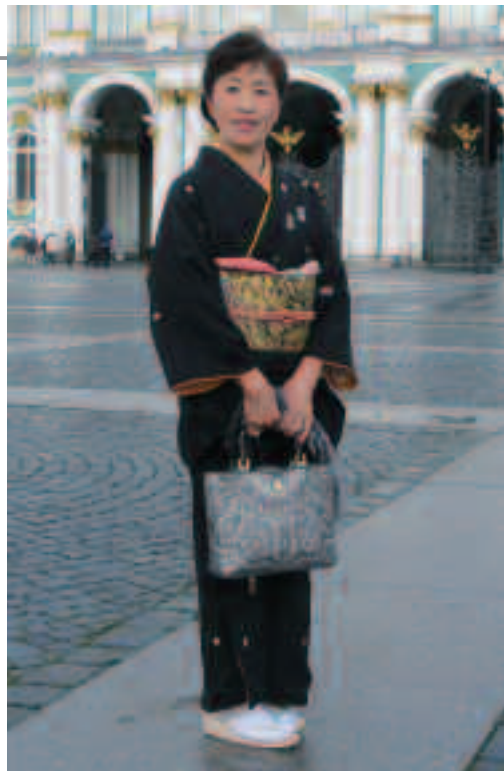
1週間のロシア滞在中、日本領

日本文化の良さを再認識したロシア訪問

事館、モスクワ大学、エルミタージュ美術館、下田市と交流があるクロンスタット、ナターリヤさんの絵画展などを訪問。「モスクワ大学で、私の家に来たことがある学生と再会することができてとても感動しました」。

日本文化に興味がある人が多く、着物姿の池田さんにみんなが近づいてきたそうです。おみやげに持って行った手作りの鶴もとても喜ばれたとか。「今回の訪問で、日本の文化やもてなしの心にあらためて感動しました。これからも大事に伝えていきたいし、町の文化向上にも貢献したいです」。今年も活躍の場が広がるような池田さんです。

【取材】板垣祐太郎（民間広報協力員）



エルミタージュ美術館前の広場で、着物姿の池田さん

ロシアで文化交流

池田 静子さん

いけだ しずこ

谷津 68歳

つるし雛や海藻押し葉、草木染めなどの制作活動のかたわら、生涯学習教室や学校で作り方を指導している。自宅には、池田さんが制作した色とりどりのつるし雛がたくさん飾られている。

今月のかわづの人に登場したロシア人の日本画家、ナターリヤさんを紹介します。ロシア、サンクトペテルブルク在住のナターリヤさんは、芸術活動を通じて日本文化の紹介、日本とロシアの文化交流の促進に貢献したとして、平成22



年秋の叙勲で旭日双光章を受章しています。日本が好きで、下田や松崎の風景を描き下田では絵画展も開いているそうです。今度は河津を描きたいと話してくれているそうなので、近いうちに素敵な絵が見られるかもしれません。（C）

姉妹都市長野県白馬村通信

中学生が村長と懇談



太田村長と懇談する中学生たち

12月3日、ケーブルテレビ白馬の指定管理者である(株)AICコミュニケーションズの番組企画で、白馬中学校の生徒6人が村長室を訪れ、白馬村についての意見交換から自分の将来まで幅広い話題で懇談しました。

中学生なりの視点から飛び出す鋭い指摘や意見

に太田村長は熱心に耳を傾け、それぞれの話題に的確な答えを返すと、中学生たちは「自分たちの見えないところで白馬村はたくさんの仕事をしてくれている」と驚いた様子でした。社会の中で心配の種となることが多い現代の若者の中で、次代を担う彼らの姿を見て太田村長の顔が少しほころんだように見えました。